

この歴史ある神社に近づくと、まずは石段のふもとにある神聖な巨大な杉の木に気づくでしょう。落雷があっても生き延びたこの昔から存在する杉の木の樹齢は、1,000 年以上だと推定されており、高さは 40m 以上、そしてその直径は約 10m となっています。30 本ものこれまた巨大な針葉樹に囲まれたこの神木は、白馬村の天然記念物として見なされています。

細野諏訪神社は、村民が秋の豊作のために雨乞いをするための場所でしたが、今日では例年の春・夏祭の会場、そして、古い年の夜間から新年の朝の間に神社詣りをするという二年詣りの場所ともなっています。

「湯かけ祭」としても知られる例大祭では、村中から集まった男性が重さ 300kg の蛇紋岩の入ったお神輿を担ぐ行列を見ることができ、彼らにはお神輿を担いでいる間中ずっと白馬八方尾根の温泉のお湯がかけられます。この壮観な行列は、担ぎ手と観客がお祭りならではの焼きそばや豚汁、綿菓子などの食事でお腹を満たし、活気に満ちた和太鼓の生演奏を楽しむことができる細野諏訪神社で終了します。一方、前のとしの日没から新年の日の出の間にある二年詣りの期間中は、この神社は真っ白な雪に覆われた中に美しくライトアップされます。この夜限定で、細野諏訪神社のお守りを購入することができます。

この神聖な場所は、八方尾根ゴンドラ駅からわずか徒歩 5 分の場所にあるため、立ち寄ってこの静寂な環境の中、神秘的な雰囲気を楽しみましょう。